領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講期間	担当講師
専門基礎分野	臨床栄養学	1	30	2 年次	4 月	四元　有吏

授業概要
人間の生活のなかでの食のあり方について考えるとともに、療養生活における治療食や食事指導の基本を理解することをねらいとする。

到達目標
1.生体が健康を維持するために必要な栄養素及び食生活について理解する。
2.療養生活における食事の意味について学び、食事指導の基本を理解する。

使用教材
テキスト　①わかりやすい栄養学　ヌーヴェルヒロカワ
　②七訂食品 80 キロカロリーガイドブック　女子栄養大学出版部
参考文献等
その他

評価
　筆記試験

授業計画

時間・回数	授業内容	方法
10 時間・5 回	1.臨床栄養学の基礎知識 1)栄養とは 2)健康と栄養評価 (1)食生活の評価　(2)食事摂取量の調査 (3)栄養状態アセスメント　(4)栄養評価のための主な血液検査 (5)食行動と管理目標 3)看護と栄養 4)食と文化　(1)食と環境　(2)食と健康 2.栄養指導・保健指導 1)栄養指導の過程 (1)栄養スクリーニング (2)栄養指導にあたっての留意事項 (3)管理栄養士によるカウンセリング 2)保健指導 3.食物と栄養 1)食品の種類と栄養素 2)栄養素とその働き 3)食物の摂取と消化・吸収 4.ライフステージと健康教育 1)妊娠期・授乳期　2)乳幼児期 3)学童期　4)思春期　5)成人期　6)老年期	講義
19 時間・10 回	5.臨床栄養 1)病院食 (1)疾患別食事療法の実際 （循環器疾患、消化器疾患、肝臓・胆のう疾患、糖尿病、腎臓病、血液疾患、悪性腫瘍、嚥下障害の患者の食事療法） 6.栄養管理におけるチームアプローチ 1)NST、摂食・嚥下、褥瘡チームにおける看護師の役割 7.栄養管理室の役割について	講義
1 時間・1 回	筆記試験 45 分間	

備考